

「平成 20 年度 地域における容器包装廃棄物3R推進モデル事業」の選考事業

No	申請者、所在地	事業名	事業の概要
1	市民活動ネットワーク (新潟県三条市)	地域通貨「らて」を活用したレジ袋削減実証実験	レジ袋の削減等を通じて家庭ごみの排出抑制を推進するため、市内の協力店でレジ袋の受け取りを辞退することにより地域通貨「らて」が提供され、一定数貯めると市指定ごみ袋と交換できる仕組みを導入する。これにより、全市でのマイバッグ持参率の大幅な改善及びレジ袋の大幅な削減を目指す。
2	社団法人環境情報科学センター (東京都千代田区)	容器包装リデュース策検討調査プロジェクト —いらない容器に「No!」といえる社会づくり—	消費者の意識調査を通じて、環境負荷の低減に資する容器包装のあり方や簡易包装の普及の阻害要因等を明らかにする。その上で、スーパーマーケットの店舗で消費者が簡易包装商品を選定するための普及啓発活動を行い、アンケート調査により消費者の商品選択行動や意識の変化を定量的に把握する。 この結果に基づき、消費者に対する効果的な情報提供方策を地方自治体に示すとともに、事業者に対して消費者に選択されやすい簡易包装商品を提案して、新たな商品開発を促す。
3	3R連携実行委員会 (神奈川県小田原市)	3R促進の具体的な行動に活用される生きた情報に係る事業	容器包装事業者の簡易包装など各種3Rの取組に対する消費者の理解の度合いを把握するためにアンケート調査を行い、十分理解されていない場合には原因等を検討する。その上で、消費者に対して各種の普及啓発活動を行い、それぞれの活動による消費者の理解度の向上、消費行動の変化等をヒアリングやアンケート調査を通じて把握し、効果を定量的に評価する。その結果から、3R促進の具体的な行動に活用される生きた情報のあり方や、市民・事業者・行政との連携による効果的な活用方策等を取りまとめる。
4	名古屋大学大学院環境学研究科環境政策論講座 (愛知県名古屋市)	「なごやリユースびんルール」実証事業	名古屋市内では繰り返し使用が可能なリユースびんを別途分けて回収するシステムは整備されておらず、ワンウェイびんと一緒に資源回収される場合が多い。そこで、市民がリユースびんを指定の回収拠点に持参すると一定価格で買い上げ、事業者へ搬送するという回収・再利用を有機的に結びつけるリユースシステム(名称:なごやリユースびんルール)を市内に約40箇所あるリサイクルステーションを運営するNPOの協力を得て試行的に実施することで、特に回収システム構築の可能性や有効性等を探るとともに、実施の課題等を明らかにする。

5	<p>特定非営利活動法人 いびがわみずみずエ コステーション (岐阜県揖斐川町)</p>	<p>西濃地域エコライ フ推進プロジェク ト</p>	<p>平成19年度より多数のNPOが主体となり、西濃地域 で買い物時にレジ袋の受け取りを断ると消費者へポイ ントが付与され、一定数を貯めると植樹か苗木配布を選 択するシステムを構築して普及を図ったところ、大きな 成果をあげた。</p> <p>この削減システムをベースとして、小売店舗などでの 過剰包装の辞退（レジ袋・紙袋・トレイなど）、簡易包 装の推進、量り売りなどの活動のほか、マイ箸持参や各 主体が行う環境に配慮した活動への参加などを消費者 が行うと、同様にポイントが付加される仕組みを導入す ることで、普及啓発の効果を定量的に評価し、家庭ごみ の排出抑制を図る生活様式の定着を図る。</p>
6	<p>京都エコ容器包装・ 商品推進協議会 (京都府京都市)</p>	<p>百貨店等における 3R型販売（エコ容 器包装やロングラ イフ商品）の導入実 験</p>	<p>主に百貨店において、消費者ニーズに対応した簡易な 容器包装やロングライフ商品、及びそれらの提供サー ビスのあり方を検討する。</p> <p>このため、百貨店に入店している各種店舗での取組状 況や消費者意識を把握するとともに、リユース食器での 総菜の販売、ギフトや歳暮における簡易な容器包装化 （包み方や配送方法の試行等）、良いものを長く使うロ ングライフ商品に対するキャンペーンの実施などを通 じて、消費者意識や行動の変化を把握し、百貨店での発 生抑制や再使用の取組を効果的に推進する方策を取り まとめる。</p>
7	<p>特定非営利活動法人 木野環境 (京都府京都市)</p>	<p>リターナブルびん の効果的な選択利 用・返却誘導策モデ ル構築事業</p>	<p>京都市内では一部のスーパーマーケットの店頭で専 用の回収ボックスを設置してリターナブルびんの回収 に努めているが、ワンウェイびんなど“雑びん”の混入 が多いことが課題となっている。</p> <p>このため、リターナブルびんとワンウェイびんの相違 点の理解度や、リターナブルびんの回収システムに対す る利用状況や回収上の課題等を把握する。</p> <p>さらに、リターナブルびんの利用促進を図る効果的な 普及啓発方策を検討するとともに、雑びんの混入防止型 の回収ボックスの試行設置を行い、それぞれの効果を定 量的に評価することを通じて、取組の有効性と課題等 を取りまとめる。</p>

**「平成 19 年度 地域における容器包装廃棄物3R推進モデル事業」の選考事業**

No	申請者、所在地	事業名	事業の概要
1	財団法人みやぎ・環境とくらし・ネットワーク（宮城県仙台市）	仙台発エコスポーツ推進プロジェクト事業	プロスポーツのサポーターと連携、ボランティアの協力を得て容器包装の3Rを推進する（人材の育成とリユースカップの普及などを通じた啓発手段の充実）。
2	コミュニティポイントによる地域活性化協議会（東京都世田谷区）	世田谷・烏山・環境コミュニティ持続可能な3R推進モデル事業	自動回収機を利用したペットボトルの資源回収を促進するとともに、回収量に応じてポイントをICカードに貯め地元での買い物に利用することで、容器包装廃棄物の資源化と住民参加型の地域活性化事業を推進する。
3	茅ヶ崎市商店会連合会（神奈川県茅ヶ崎市）	私の思い出のある傘でマイバッグ（マイ傘d eエコバッグ）	市民から不要の傘を受け付け、障がい者施設でボランティアグループがマイバッグをつくり販売。親子、一般市民を対象とした環境学習講座（マイバッグづくり教室）を通じた3R意識の普及啓発を図る。
4	容器・包装3R推進協議会（愛知県名古屋市）	レジ袋有料化促進モデル事業	名古屋市緑区におけるレジ袋有料化の社会的実験。スーパー、量販店、コンビニ、小規模小売店など協力店が一定期間、一斉にレジ袋を有料化し、その間の消費者行動の変化等を調査予定。市と連携した市民意識の変化も調査する。
5	特定非営利活動法人いびがわみずみずエコステーション（岐阜県揖斐郡揖斐川町）	レジ袋ないない大運動会	レジ袋を断ると専用のポイントカードへポイントを押印し、100ポイントを貯めたら1本の植樹活動か1本苗木を配布して育成。大垣市での取組をベースとして、NPO、地域団体との連携、企業や行政との協働により、西濃地域全域に拡大する。
6	京都大学環境保全センター（京都府京都市）	レジ袋の量的・質的削減方策にかかる社会システム試行とその検証	レジ袋の質的及び量的削減に向けた取組をモデル事業展開すると同時に、その効果を検証することにより、取組の問題点や改善点を把握し、今後の効果的な施策展開を提案する。

**「平成 18 年度 地域における容器包装廃棄物3R推進モデル事業」の選考事業**

No	申請者、所在地	事業名	事業の概要
1	ガラスびんリサイクル促進協議会（目黒区、京都市、神奈川県大和市、沖縄県那覇市）	モデル市町村のリターナブルびん分別収集効果・効率性検証事業	リターナブルびんを収集の対象にしている自治体のモデル的なガラスびんの収集について、その分別収集、選別、保管、引渡までのフローの把握、市町村のコスト、課題等の把握を行い、市町村のリターナブルびん分別収集の実効性、効果の検証を行う。また、消費者の利便性、意識、協力度等の把握を行い、全国展開への課題等を明確にする。
2	早稲田商店会・早稲田大学環境総合研究センター（東京都新宿区）	早稲田大学キャンパスとその周辺地域における3Rコミュニティモデル	地域通貨の仕組みを活用し、大学、地域商店街が協働して、地域の環境活動にインセンティブを導入したプラットフォームを構築し、レジ袋削減行動や地域での空き缶やペットボトルの回収、弁当容器のリユースへの取組

		事業	等様々な活動に一体感を持たせた地域における環境配慮活動とインセンティブを効果的につなげた事業を実施し、その効果を数値的に把握、評価をすることでエリアマネジメントのシステムを実証する。
3	杉並区レジ袋削減推進協議会 (東京都杉並区)	杉並区レジ袋削減3R推進モデル事業	レジ袋削減について、地域自主協定によるレジ袋有料化によるレジ袋削減効果・影響等を検証し、地域に求められる取組みを明らかにする。また、様々な主体の協議によるレジ袋削減のための3R運動の推進、これまで推進協議会で進めてきたレジ袋対策のノウハウと課題を取りまとめ、その評価を進め、その知見を広く全国に発信し、レジ袋削減等容器包装廃棄物の3Rの推進を普及啓発する。
4	リターナルブルびん利用促進モデル事業推進連絡会 (神奈川県茅ヶ崎市)	リターナルブルびん利用促進モデル事業	自治体、商店会連合会、小売酒販組合、地元消費者団体、ガラスびんリサイクル促進協議会が協働で、リターナルブルびん利用促進モデル事業推進連絡会を組織し、Rマークびんを含むリターナルブルびんの利用(販売)促進、販売店ルートでの回収促進等について推進し、その効果を把握・検証する。また、各主体の意識、役割等をまとめ、全国展開への課題等を明確にする。
5	京都大学環境保全センター (京都府京都市)	きめ細やかな分別収集に係るモデル事業	プラスチック製容器包装について、よりきめ細やかな分別収集をモデル的に実施し、収集量や収集物の質、他の収集されたプラスチック製容器包装に占める割合、マテリアルリサイクルによる再商品化の品質向上効果等を検証すると同時に、分別収集細分化による市町村及び消費者の負担の程度、消費者の協力の状況・意識の変化等についても把握し、課題と可能性等を把握、検証する。
6	レジ袋削減等3R推進協議会 (大阪府池田市)	池田市レジ袋削減自主協定等モデル事業	商工会議所、市場会連合会、商店会連合会、市民団体等でレジ袋削減等3R推進協議会を組織し、レジ袋の排出抑制をはじめとする容器包装廃棄物等の3Rを推進する。特に、商工会議所、商店街等と市との自主協定の締結によるレジ袋削減運動、推進協議会等によるオリジナルマイバッグの作成、活用と表彰、小学校でのマイバッグ持参運動効果検証事業や子供一日推進員事業等を実施する。
7	NPOごみじゃぱん (兵庫県神戸市)	容器包装廃棄物の排出抑制を目指す簡易包装普及推進社会実験モデル事業	消費者、事業者、教育研究機関及び行政が協働して、容器包装廃棄物の3Rの抜本的な解決に資する社会的仕組みづくりを構築するため、消費者への情報戦略とインセンティブの設定により、簡易包装商品の普及を図る検証事業を行う。実験対象の簡易包装商品の販売実績、消費者の意識・行動の変化の把握と分析を行い、そこから得られた知見を基に、簡易包装推進についての、今後の課題と展開について取りまとめる。